

# グループ討議の そのまゑに

## 1. 運営委員会は、利用者の活動を支援、推進することが基本的な姿勢ではないでしょうか。

利用者同士のボランタリーな活動（各企画検討会・各実行委員会・各提案など）を、実現させていくための「アイデアや対応策を協議する場」が、利用者が求める運営委員会と感じます。

## 2. グループワークの前に、「話し合う目的の確認」をしましょう。

改善提案を否定せず、「愚痴は1割、改善提案9割」となるような雰囲気を持ちましょう。ただし、目的とはズレた話、愚痴や文句に感じる意見を静止するように互いに協力しましょう。

・ 進行工夫： 時間に適度な区切りをつける

「話し合う → 意見の確認 → 話し合う → (繰り返し) → 意見をまとめる」

・ 進行工夫： 全員の意見が聞けるように

## 3月の運営委員会の議論について

### 1. 企画検討会について、議論の目的は「3つ」。

1. 企画検討会の「活動内容の説明」と理解する
2. 企画検討会の枠組み（仕組み）をどうするかを検討する
3. 自分が、どの企画検討会に参画するかを決める（最低1つ以上）

### 2. 一階活動スペースの利用マナー案について、議論のポイント

1. 定期的利用が他の利用を妨げないようにするマナー（利用希望の重複）
2. 金銭を授受する場合に、営利ではないように明瞭にするマナー（非営利の担保）
3. 活動の目的や内容、非営利であることを示す広報マナー（チラシのマナー）